

### 3 よいよい学級集団には、保護者との信頼関係がある！

よりよい学級集団をつくるためには、学級経営への保護者の理解と協力が不可欠です。そのためには、保護者との信頼関係が重要となります。これからの教師には、保護者の信頼を十分に得ながら実践をしていく役割が求められます。そのためには、保護者とつながるためのベースをしっかりと持った上で、日頃より次の2つことが大切となります。

#### 『保護者との信頼関係づくり』2つのポイント！



#### 1. 先手の対応

##### 【先手1】

保護者の方にあつた時、こちらから**すぐにあいさつ**をしましょう！



##### 【先手2】

子どもが「欠席した時」「けがをした時」「様子が気になった時」、**その日のうちに、すぐに連絡**しましょう！

##### 【先手3】

何かあってからではなく、**何か起きそうな時は、先に情報を提供(連絡)**しましょう。



#### 2. 情報の活用

##### 【情報1】

学級での教育活動について、「何を」「何のために」「いつ」「どのように」**取り組んでいるか**を伝えましょう！

##### 【情報2】

保護者があまり見ることのできない**日常の学級や子どもの様子**を伝えましょう！



##### 【情報3】

学期の区切りや大きな行事のあと等、**節目ごとに子ども達の成長の様子**を伝えましょう！



#### 保護者とつながるためのベースとなるもの

##### ① 「子どもの成長」を中心において保護者とつながりましょう！

保護者は、子どもの将来を思って子育てをされています。ですから、「子どもの成長のために一緒に考えましょう。」という姿勢をベースにした対応が必要です。



##### ② 足を運び、顔をあわせてコミュニケーションをとりましょう！

気持ちがつながるのは、やはり顔をあわせてのコミュニケーションです。フットワークの軽さは大切です。

##### ③ すべての子どもに情熱をもって指導や支援する姿勢を基本としましょう！

当たり前のことですが、わたしたち教師の一番の役目は子ども達の教育です。まず、日々の生徒指導や授業を熱心にやることがベースにあってこそ、保護者とつながることができるのではないのでしょうか。

#### 【コラム】保護者からクレームがあつた時、基本の「4つのステップ」？

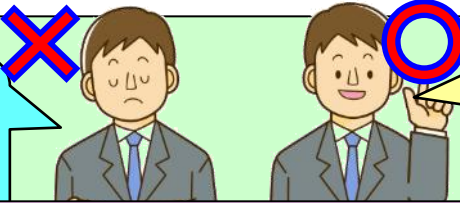
- ① 保護者の怒り、不信の感情を「受け止める」
- ② 教師が行つた対応を「説明する」
- ③ どのような対応を教師に期待していたかを「質問する」
- ④ 教師と保護者が連携して対応していくことを「確認する」



# 「保護者との信頼関係づくり」に向かう対応の具体例！

【ケース①】朝の時間、知らない保護者さんが職員室にいられました。その時、あなたは…？

……………  
（自分のクラスの保護者さんじゃないから、対応は教務の先生に任せよう。）

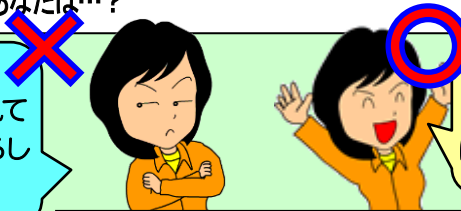


おはようございます。  
何かご用でしょうか？

**誰にでも、まず気持ちのいいあいさつ！それが信頼関係づくりの第1歩！**

【ケース②】元気だけど忘れ物が多いAくんの保護者の方が、PTAの仕事で学校にいられているところにバッタリ会いました。その時、あなたは…？

こんにちは。  
Aくん、今日もノートを忘れて  
ましたよ。持ち物の点検をよろしく  
お願いします。



こんにちは。  
Aくん、今日も元気に友達と楽しそう  
にサッカーをしていましたよ。

**まず、学校で子どもががんばっていることを、伝えましょう！  
我が子をほめられて、いやな気持ちになる方はいません！**

【ケース③】学級でトラブルがあって、事情を知っているBくんを放課後残して話を聞きます。時間がかかりそうですが、Bくんは「遅くなっても大丈夫！」と言っています。その時、あなたは…？

遅くならないかもしれない  
し、Bくんも連絡しないで大丈夫  
と言ってるから、保護者に電話  
しなくていいか……。

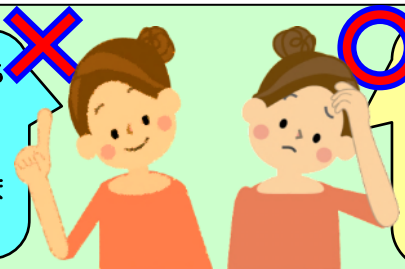


もしもし、今日、学級で〇〇〇な事があ  
って今からBくん事情を聞かせてもらおうと  
思っています。すみませんが、帰りが遅くな  
るかもしれません。よろしいでしょうか？

**予定外のことが起きた時は、保護者の気持ちを予測して、不信  
感をもたれないように早めに伝えて対応しましょう！**

【ケース④】休み時間はいつもCくんとDくんは、ふざけて楽しそうに遊んでいます。ある日、Dくんのお母さんが、「うちの子がCくんからいじめられている！」と相談にいられました。その時、あなたは…？

ふざけているだけです。いつも  
二人で仲よく遊んでいますから。  
一応、気にかけて様子を見ます。  
そして、何かありましたら連絡しま  
す。



いつも二人で仲よく遊んでいるよう  
ですが何かあったのですね。詳しく聞  
かせてください。  
子ども達からも詳しく話を聞きます  
ね。その上で、なるべく早くお母さん  
に連絡します。

**安易に「いじめの有無」を決めず、保護者からは「どんな出来事があって、どう感じている  
か」をまず聴きましょう。そして、「事実確認」と「説明」をスピード感をもって行いましょう。  
いじめの問題は、必ず複数(管理職を含む)で対応しましょう！**